

Armadillo-220

Startup Guide

Version 1.0.4

2007年9月14日

株式会社アットマークテクノ
<http://www.atmark-techno.com/>

 **Armadillo** 公式サイト
<http://armadillo.atmark-techno.com/>

目次

1.	はじめに	1
2.	注意事項	2
2.1.	安全に関する注意事項	2
2.2.	保証に関する注意事項	2
2.3.	取り扱い上の注意事項	3
2.4.	Power over Ethernet(オプション)使用時の注意事項	3
2.5.	ソフトウェア使用に関しての注意事項	3
2.6.	商標について	3
3.	ご使用前に	4
3.1.	各部名称	4
3.2.	準備するもの	5
3.3.	ケースの作成	6
3.4.	LANケーブルの接続	7
3.5.	電源の投入	7
3.6.	Armadillo-220 の終了	7
4.	Armadillo-220 の内蔵機能	8
4.1.	Bonjour	8
4.1.1.	Bonjourのインストール	8
4.1.2.	動作確認	9
4.2.	USBメモリ内のデータ表示機能	10
5.	WEBブラウザによるArmadillo-220 の管理	11
5.1.	Armadillo-220 管理画面「AT Admin」	11
5.2.	AT Admin: 認証	12
5.3.	AT Admin: Overview	13
5.3.1.	Show USB Data	13
5.3.2.	Network	13
5.3.3.	Uptime	13
5.3.4.	Firmware	13
5.4.	AT Admin: USB Data	14
5.5.	AT Admin: System	15
5.5.1.	AT Admin: System – System Overview	15
5.5.2.	AT Admin: System – Network	17
5.5.3.	AT Admin: System – Password	20
5.5.4.	AT Admin: System – Firmware	22
5.5.5.	AT Admin: System – Save & Load	25
6.	ネットワーク設定	28
6.1.	Armadillo-220 の自動ネットワーク接続機構	28
6.2.	簡単な接続方法	28
6.3.	その他の接続方法	28
6.3.1.	DHCP接続	28
6.3.2.	Zeroconf接続	28
6.3.3.	固定IPアドレス設定接続	29
6.4.	Bonjour上のホスト名について	29
7.	トラブルシューティング	30
7.1.	Armadillo-220 が起動しない	30
7.2.	BonjourからArmadillo-220 を発見できない	30
7.3.	ネットワーク設定の変更後、WEBブラウザ表示ができない	30

目次

図 3-1 Armadillo-220 のインターフェース	4
図 3-2 ケース作成方法	6
図 4-1 Internet Explorer のエクスプローラ バー設定	9
図 4-2 エクスプローラ バー “Bonjour”	9
図 5-1 AT admin: Overview	11
図 5-2 AT Admin: System ユーザ名/パスワード認証	12
図 5-3 AT Admin: USB Data	14
図 5-4 AT Admin: System – System Overview	15
図 5-5 AT Admin: System – Network	17
図 5-6 AT Admin: System – Network Update	19
図 5-7 AT Admin: System – Password	20
図 5-8 AT Admin: System – Firmware	22
図 5-9 AT Admin: System – Updating Firmware	24
図 5-10 AT Admin: System – Save & Load	25
図 5-11 AT Admin: System – Reload	26
図 5-12 AT Admin: System – Reboot	27

1.はじめに

このたびは Armadillo-220 をお買い求めいただき、ありがとうございます。

Armadillo-220 はイーサネットとシリアルポート、USBホスト機能、及び汎用I/Oインターフェースを持つ超小型ネットワークコンピュータです。ご購入頂いたそのままの状態、USBポートに接続したUSBメモリ¹の内容を、内蔵のWEBサーバで公開する機能を搭載しています。

標準 OS(オペレーティングシステム)に Linux を搭載していますので、フラッシュメモリの内容を書き換えることで、Linux の豊富なソフトウェア資産を利用することができます。また、C などのプログラミング言語を使用して、オリジナルのプログラムを作成し動作させることが可能です。

本マニュアルには、ご購入時の状態の Armadillo-220 で利用できる各種機能の利用方法が記載されています。Armadillo-220 をカスタマイズしてご利用される場合は、「Armadillo-200 シリーズ Software Manual」を参照してください。

利用できる機能は、以下のとおりです。

PC から WEB ブラウザで簡単設定

ネットワークに接続された PC の WEB ブラウザで、ネットワーク設定などの変更やファームウェアのアップデートなどを行うことができます。

USB メモリ内データ WEB 公開機能

Armadillo-220 の USB ポートに接続した USB メモリ内の画像データを、WEB ブラウザから見ることができます。

SSH(Secure Shell)機能

SSH プロトコルを利用して、ネットワーク接続された PC から Armadillo-220 のコンソールにログインすることができます。

¹ 他のストレージクラスの USB 機器(USB HDD など)も、もちろん利用可能です。

2. 注意事項

2.1. 安全に関する注意事項

本製品を安全にご使用いただくために、特に以下の点にご注意くださいますようお願いいたします。



本製品には一般電子機器用（OA機器・通信機器・計測機器・工作機械等）に製造された半導体部品を使用しておりますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置（医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等）に組み込んで使用したりしないでください。また、半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性があります。ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計（リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等）に万全を期されますようお願い申し上げます。

2.2. 保証に関する注意事項

- 製品保証範囲について
付属品（ソフトウェアを含みます）を使用し、取扱説明書、各注意事項に基づく正常なご使用に限り有効です。万一正常なご使用のもと製品が故障した場合は、初期不良保証期間内であれば新品交換をさせていただきます。
- 保証対象外になる場合
次のような場合の故障・損傷は、保証期間内であっても保証対象外になります。
 1. 取扱説明書に記載されている使用方法、または注意に反したお取り扱いによる場合
 2. 改造や部品交換に起因する場合。または正規のものではない機器を接続したことによる場合
 3. お客様のお手元に届いた後の輸送、移動時の落下など、お取り扱いの不備による場合
 4. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、公害や異常電圧による場合
 5. ACアダプター、専用ケーブルなどの付属品について、同梱のものを使用していない場合
 6. 修理依頼の際に購入時の付属品がすべて揃っていない場合
- 免責事項
弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、製品の使用および、故障、修理によって発生するいかなる損害についても、弊社は一切の責任を負わないものとします。



本製品の初期不良保証期間は商品到着後2週間です。本製品をご購入されましたらお手数でも必ず動作確認をおこなってからご使用ください。本製品に対して注意事項を守らずに発生した故障につきましては保証対象外となります。

2.3. 取り扱い上の注意事項

本製品に恒久的なダメージをあたえないよう、取り扱い時には以下のような点にご注意ください。

- 電源の投入
本製品や周辺回路に電源が入っている状態で汎用 I/O コネクタの着脱は絶対に行わないでください。
- 静電気
本製品には CMOS デバイスを使用しておりますので、ご使用になるまでは帯電防止対策のされている、出荷時のパッケージ等にて保管してください。
- ラッチアップ
電源および入出力からの過大なノイズやサージ、電源電圧の急激な変動等で使用している CMOS デバイスがラッチアップを起こす可能性があります。いったんラッチアップ状態となると、電源を切断しないかぎりこの状態が維持されるため、デバイスの破損につながる可能性があります。ノイズの影響を受けやすい入出力ラインには保護回路を入れることや、ノイズ源となる装置と共通の電源を使用しない等の対策をとることをお勧めします。

2.4. Power over Ethernet(オプション)使用時の注意事項

- LAN ケーブル
Type-B の給電装置を使う場合は、全結線されたケーブルを使用してください。
- LAN コネクタの再挿入
Power over Ethernet 使用時、LAN コネクタを再度挿し直したときに HUB 側が受電装置確認のために通電が数秒遅れる場合がありますが動作に問題はありません。

2.5. ソフトウェア使用に関する注意事項

- 本製品に含まれるソフトウェアについて
本製品に含まれるソフトウェア(付属のドキュメント等も含みます)は、現状のまま(AS IS)提供されるものであり、特定の目的に適合することや、その信頼性、正確性を保証するものではありません。また、本製品の使用による結果についてもなんら保証するものではありません。

2.6. 商標について

Armadillo は(株)アットマークテクノの登録商標です。
その他の記載の会社名、製品名は、それぞれの登録商標または商標です。

3. ご使用の前に

3.1. 各部名称

Armadillo-220 の各部名称と機能を簡単に説明します。

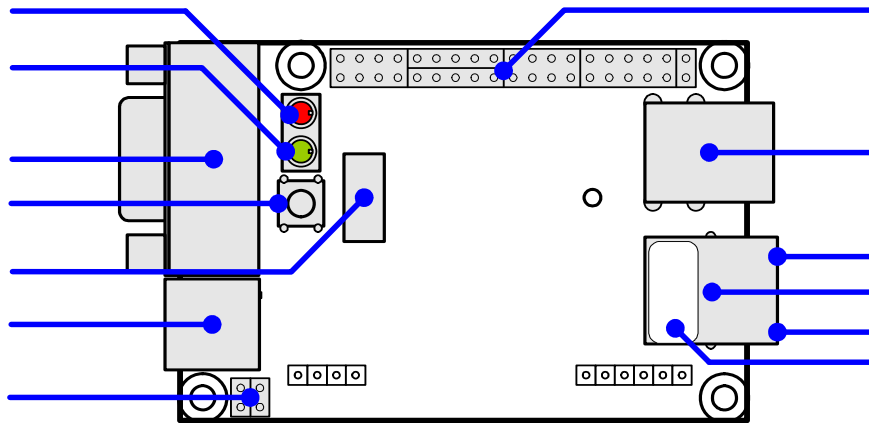


図 3-1 Armadillo-220 のインターフェース

LED(赤)

Armadillo-220 の起動状態を示します。動時とネットワークの設定を変更するときに点灯し、システムとして使用可能になると消灯します。システム設定を初期化した際、起動時に時間のかかる処理を行ないますが、この間は点滅します。また、USB のデバイスを検知し使用可能になるまでの間も点滅します。

LED(緑)

LED(緑)は、電源状態を表します。点灯時は電源がオン、消灯時は電源がオフです。

シリアルコネクタ

シリアルケーブルを接続するコネクタです。

タクトスイッチ

USB メモリ内画像 VGA 出力機能において、表示画像を切り替えるために使用します。

NAND モジュールコネクタ

NAND モジュール(オプション品)を接続するコネクタです。

電源コネクタ

AC アダプターを接続するコネクタです。DC5V の AC アダプターをご利用になれます。

ジャンパピン

起動モードの変更に使用します。通常起動する場合は JP1、JP2 共にオープンにしておきます。ジャンパピンの設定に関する詳しい説明は、Hardware Manual「5.15. JP1, JP2 (起動モード設定ジャンパ)」をご覧ください。

拡張コネクタ

本マニュアルでは使用しません。拡張コネクタに関する詳しい説明は、Hardware Manual「5. 各種インターフェース使用」をご覧ください。

USB コネクタ

USB デバイスを接続するコネクタです。

LAN Active LED(黄)

LAN のアクティブ状態を表示します。

LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続するコネクタです。PoE(Power Over Ethernet)に対応*しています。

*PoE による電源供給には、オプションの PoE モジュールの実装が必要となります。現在、PoE 対応モデルは受注生産品です。

LAN Link LED(緑)

LAN のリンク状態を表示します。

MAC アドレス表記

3.2. 準備するもの

Armadillo-220 を使用するにあたり、必要なものは以下のとおりです。その他の必要なものは、すべて Armadillo-220 開発用モデルに含まれています。

- LAN ケーブル(カテゴリ 5 以上のストレートケーブル。PC と直接接続する場合はクロスケーブル)

3.3. ケースの作成

以下の図のように Armadillo-220 をケースに収め、付属のネジで固定してください。ネジをきつく締め過ぎると、ケースが破損する恐れがありますので十分にご注意ください。

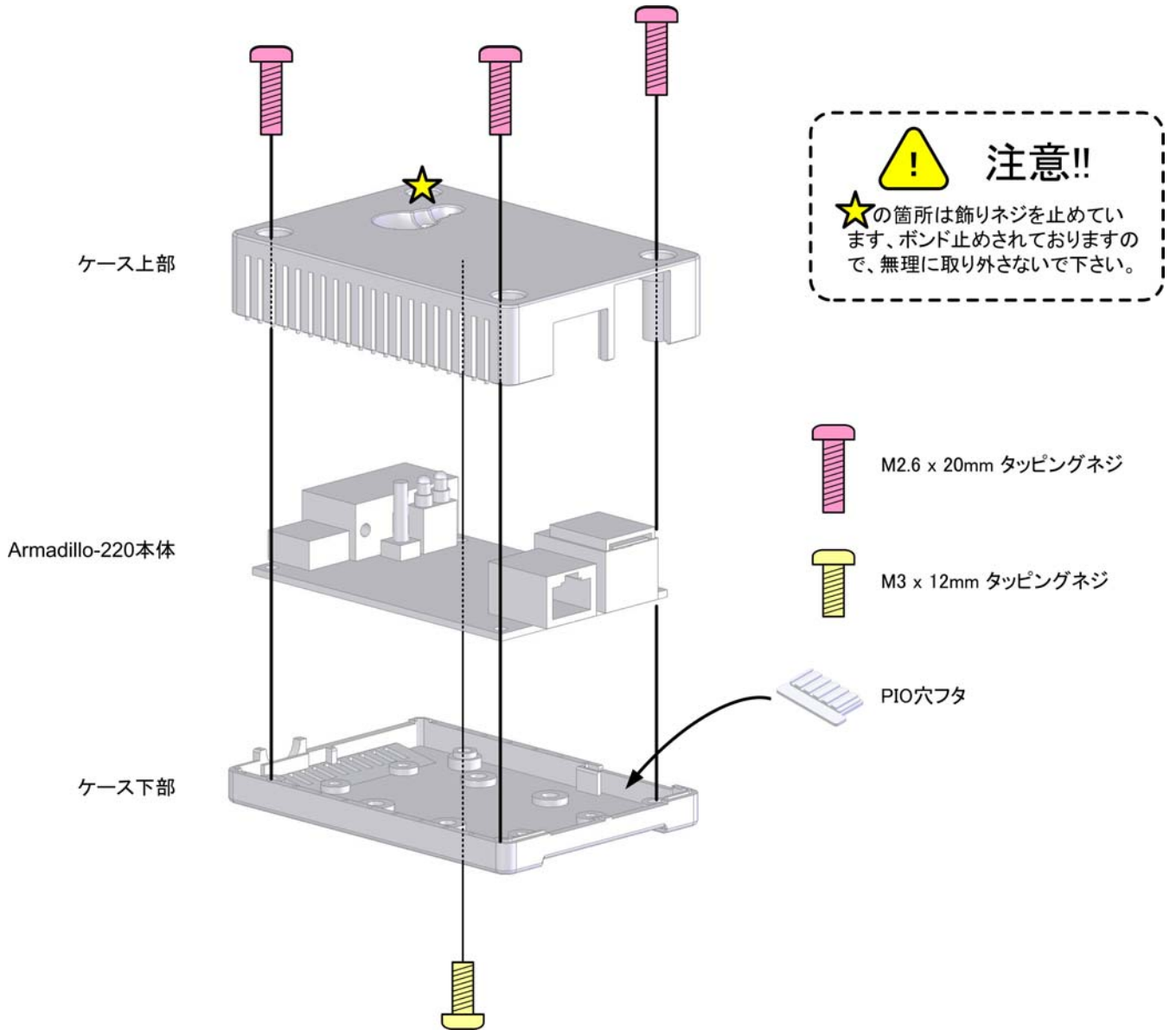


図 3-2 ケース作成方法

3.4. LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルを正しく接続してください。

3.5. 電源の投入

AC アダプターを電源コネクタに接続してください。

Armadillo-220 に電源が投入されると、LED(赤)と LED(緑)が点灯し自動的に起動が開始されます。その後、ネットワーク接続が完了すると LED(赤)だけが消灯します。

電源の投入後に LAN コネクタの Link LED が点灯することを確認してください。

3.6. Armadillo-220 の終了

AC アダプターを抜くと Armadillo-220 は終了します。

ただし、Armadillo-220 が内部の設定を変更している最中に電源を切断した場合、設定が正しく保存されない恐れがありますのでご注意ください。Armadillo-220 が設定の変更を行う状況は、以降の章で説明します。

4. Armadillo-220 の内蔵機能

4.1. Bonjour

Armadillo-220 は、Bonjourに対応しています。このため、同じネットワーク上のBonjourに対応するPCから、Armadillo-220 を容易に見つけ出すことができます²。

(Apple社Webサイトより [引用](#))

「Bonjour」について

「Bonjour」は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれていますが、IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。「Bonjour」では、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したり DNS サーバを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

4.1.1. Bonjour のインストール

4.1.1.1. Windows

Windows で Bonjour を利用するには、Bonjour for Windows をインストールする必要があります。このソフトウェアは二次配布が許可されていないため、開発セットに付属していません。アップル社の WEB サイトからダウンロードしてください。

[アップル - サポート - ダウンロード - Bonjour for Windows](#)

<http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/bonjourforwindows.html>

ダウンロードした「BonjourSetup.exe」を実行し、表示される画面に従って適切にインストールしてください。

4.1.1.2. Mac OS X

Mac OS X では Bonjour は標準搭載されています。

4.1.1.3. Linux

Linux では、Avahi 及び nss-mdns ライブラリを利用して、Bonjour を扱うことができます。詳しくは、お使いのディストリビューションのドキュメントなどを参照してください。

² PC 側のネットワーク設定は、通常は OS が持っている自動 IP アドレス取得機能を使用します。詳しくは「[6 ネットワーク設定](#)」を参照してください。

4.1.2. 動作確認

Bonjour を使って Armadillo-220 の検出を行います。ここでは例として Windows 環境を使います。他の OS で作業する場合はそれぞれの環境のマニュアルを参照してください。

Windows PC で Internet Explorer を起動します。

Bonjour がインストールされると、Internet Explorer(以下、IE)の 익스プロー라 バーに Bonjour の表示をすることが可能になります。メニューバーの「表示(V)」 「 익스プロー라 バー(E)」 「Bonjour」にチェックを入れてください。

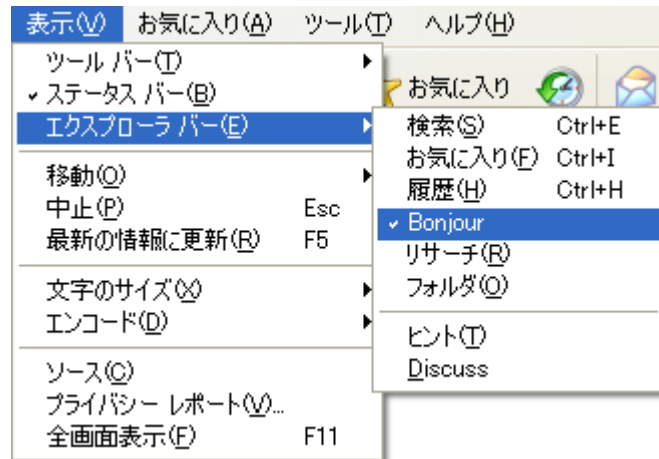


図 4-1 Internet Explorer の 익스プロー라 バー設定

IE 左側の 익스プロー라 バー「Bonjour」を見てください。



図 4-2 익스プロー라 バー “Bonjour”

1 行目は、Bonjour について書かれた Apple 社 WEB サイトへのリンクになっています。

その下に「AT Admin on a220-0 [00:11:0C:XX:XX:XX]」と表示されています。これが、Armadillo-220 へのリンクです。「AT Admin on a220-0 [00:11:0C:XX:XX:XX]」をダブルクリックすると、ブラウザに Armadillo-220 管理画面「AT Admin」が表示されます。

익스プロー라 バーに「AT Admin on a220-0」が表示されない場合は、「7.2 BonjourからArmadillo-220 を発見できない」を参照してください。「AT Admin」が表示されない場合、「6 ネットワーク設定」を参照してPCのネットワーク設定を適切におこなってください。

4.2. USB メモリ内のデータ表示機能

Armadillo-220 は、USBメモリ³内のデータをAT Admin画面に表示する機能を持っています。使用するUSBメモリは、以下の条件を満たす必要があります。

使用可能な USB メモリ

一般的な USB メモリを使用することができます。Windows PC に接続した際、特別なデバイスドライバなしで単一のリムーバブルディスクとして扱えるものである必要があります。

ファイルシステムのフォーマット

Windows PC でフォーマットしたものをそのまま使用できます。(現在販売されている USB メモリの多くは、購入状態でこのフォーマットとなっています)



注意

消費電流が 500mA を超える USB メモリデバイスは使用できません。

500mA を超えるストレージをご使用の際は、USB メモリ付属の AC アダプターを使用するなど、セルフパワーでお使いください。

内容表示を行う場合は、USB メモリを起動済の Armadillo-220 に接続します。2 つある Armadillo-220 の USB ポートのどちらに接続しても構いません。接続後、USB メモリを認識するまで 5 ~ 10 秒程度かかります。この間 Armadillo-220 の LED(赤)が点滅し、認識中であることを表わします。認識が完了すると LED(赤)の点滅が終了し、AT Admin 画面から内容を確認することができるようになったことを伝えます。

内容表示を終了する場合は、USB メモリを Armadillo-220 の USB ポートから外してください。少しの間 LED(赤)が点滅し、USB メモリが外されたことを伝えます。

³ 他のストレージクラスの USB 機器(USB HDD など)も、もちろん利用可能です。

5.WEB ブラウザによる Armadillo-220 の管理

5.1.Armadillo-220 管理画面「AT Admin」

Bonjour機能をつかってArmadillo-220 を選択すると、WEBブラウザに 図 5-1のようにArmadillo-220 のトップページが表示されます。

Armadillo-220 のトップページは、AT admin の「Overview」です。AT admin には「Overview」の他に「USB Data」と「System」が用意されています。

メニュー	機能
Overview	システム概要
USB Data	USB メモリ内データ表示
System	システム設定

これら 3つの機能は、必ずページ上方のメニュー内に表示されます。文字列をクリックすることで、各ページを開くことができます。

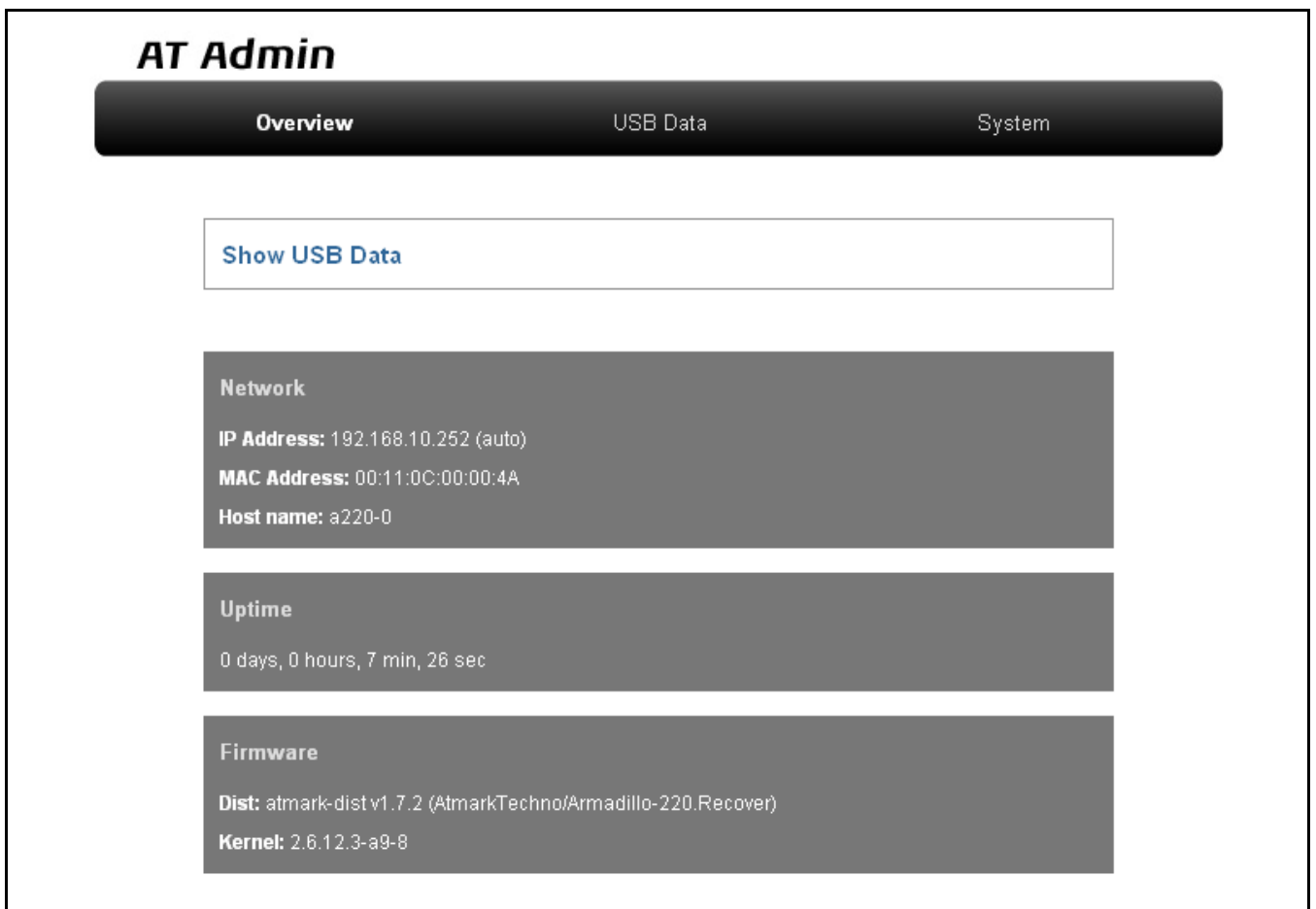


図 5-1 AT admin: Overview

5.2. AT Admin: 認証

AT Adminではユーザ名とパスワードによる認証を要求する場合があります。Armadillo-220 の場合、System を選択する場合に認証が必要です。このときは 図 5-2 のようにサブウィンドウが表示されます。

初期状態でのユーザ名およびパスワードは以下の通りです。

ユーザ名	パスワード
admin	admin

ユーザ名とパスワードを入力し、OK ボタンを押してください。認証が正しく行なわれた場合、選択した画面が表示されます。

図 5-2 AT Admin: System ユーザ名/パスワード認証

5.3. AT Admin: Overview

Overview 画面の各部位について説明します。Overview には大きくわけて 4 つの情報が表示されます。

- Show USB Data
- Network
- Uptime
- Firmware

5.3.1. Show USB Data

USB メモリにあるデータを表示します。

5.3.2. Network

Network では現在のネットワーク設定の概要が表示されます。表示される項目は以下の 3 つです。

IP Address

現在の IP アドレスが表示されます。IP アドレスの後ろに「(auto)」と書かれている場合は、DHCP または Zeroconf により自動的に IP アドレスの設定がされていることを示します。逆に「(static)」となっている場合は固定 IP アドレスが設定されていることを示します。

MAC Address

割り振られている固有の MAC アドレスが表示されます。

Host name

設定されているホスト名が表示されます。初期状態は a220-0 です。

5.3.3. Uptime

Armadillo-220 が起動してからの経過時間が表示されます。時間表示は、日(days)、時(hours)、分(min)、秒(sec)で表されます。

5.3.4. Firmware

現在動作しているファームウェアについて表示されます。

Dist

使用しているディストリビューションのバージョンとプロファイル名が表示されます。

Kernel

Linux カーネルのバージョンが表示されます。

5.4. AT Admin: USB Data

Overview 画面から「Show USB Data」をクリックするか、メニューバーから「USB Data」をクリックすると、USB Data 画面が表示されます。

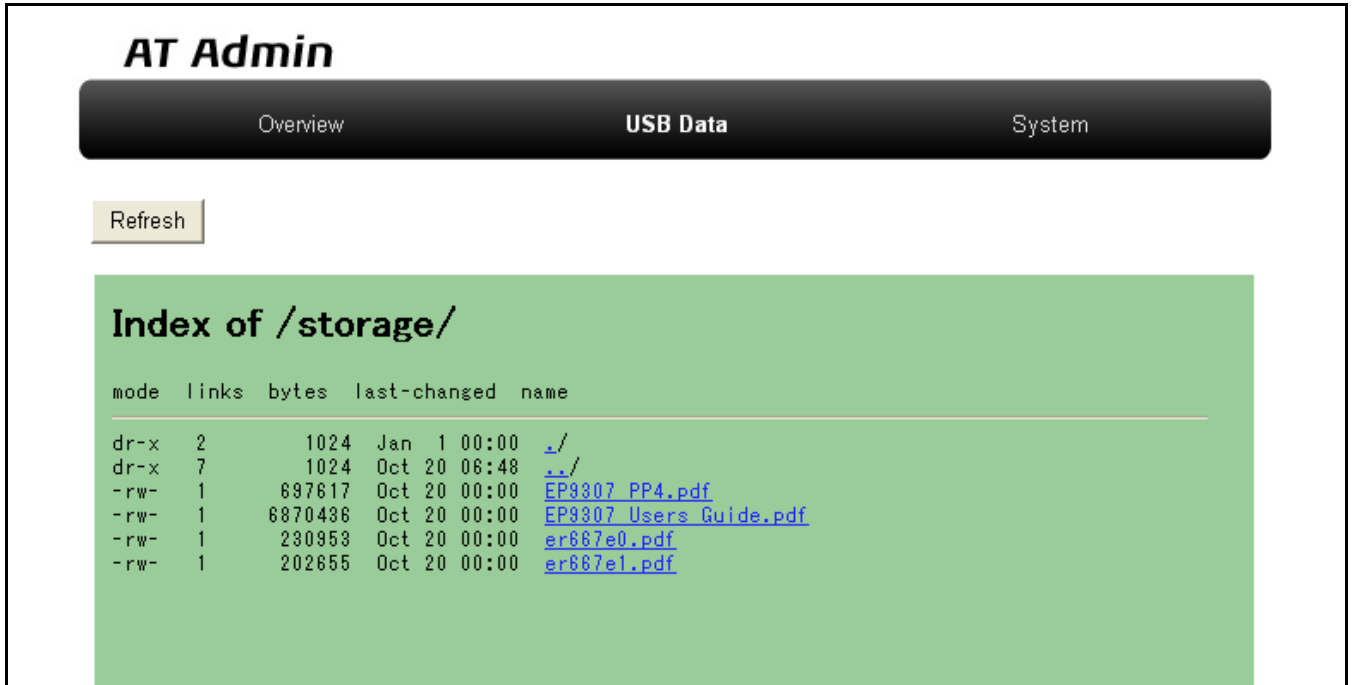


図 5-3 AT Admin: USB Data

画面の中央に、USB メモリ内のファイル一覧が表示されます。ディレクトリをクリックするとディレクトリ移動し、ファイルをクリックすると(PCのファイル種類関連付けに従い)ファイルが開かれます。

後から USB メモリの抜き差しをおこなった場合などは、上下にある「Refresh」ボタンを押してください。画面内容が最新状態に更新されます。

5.5. AT Admin: System

5.5.1. AT Admin: System – System Overview

System Overview では Armadillo-220 に関する情報の設定および確認を行ないます。System Overview には大きく分けて 3 つの情報が表示されます。

- Network Info
- System State
- Firmware

AT Admin

Overview USB Data **System**

System Overview Network Password Firmware Save & Load

Network Info

IP Address 192.168.10.252 (auto)
MAC Address 00:11:0C:00:00:4A
Host name a220-0
Traffic 580 packets received
 263 packets sent
Zeroconf Active

[show ifconfig](#)

System State

Load 0.00 (5min average)
Memory 29152K available, 16196K free
Uptime 0 days, 0 hours, 8 min, 53 sec

[show meminfo](#)
[show syslog](#)

Firmware

Version atmark-dist v1.7.2 (AtmarkTechno/Armadillo-220.Recover)
Kernel 2.6.12.3-a9-8

図 5-4 AT Admin: System – System Overview

5.5.1.1. Network Info

Network Info にはネットワーク設定の詳細が表示されます。

IP Address 現在の IP アドレスが表示されます。IP 番号の後ろに表示される文字列の意味は以下の通りです。

文字列	意味
(auto)	DHCP または Zeroconf による自動 IP 設定
(static)	固定 IP アドレスによる手動 IP 設定

MAC Address Armadillo-220 固有に割り振られている MAC アドレスが表示されます。

Host name 設定されているホスト名が表示されます。初期状態は a220-0 です。

Traffic システム起動後にネットワーク送受信されたパケット数が表示されます。

Zeroconf Bonjour による自動的なデバイス検出が有効であるかどうかが表示されます。

また、さらに詳しいネットワーク情報は「show ifconfig」から参照することができます。Show ifconfig のページは ifconfig コマンドの出力をそのまま表示します。表示内容の詳細については ifconfig のマニュアルを参照してください。

5.5.1.2. System State

現在のシステム状況を確認することができます。確認できる情報は以下の 3 つです。

Load システム負荷状態(Load Average)が表示されます。

Memory メモリの使用状態が表示されます。

Uptime Armadillo-220 システム起動時点からの経過時間が表示されます。

また、「show meminfo」および「show syslog」から、meminfo の情報とシステムログファイルの情報をそのままの状態を確認することができます。

5.5.1.3. Firmware

現在動作しているファームウェアについて表示されます。

Dist ディストリビューションと使用プロファイルについての情報です。
ユーザーランド(アプリケーション群)ソフトウェアのバージョンと種類について表示されます。

Kernel Linux カーネルのバージョンについて表示されます。

5.5.2. AT Admin: System – Network

Network では、ネットワークに関する各種設定を変更することができます。

Network では大きく分けて 2 つの設定を行なうことができます。

- IP アドレス
- Hostname

AT Admin

Overview USB Data **System**

System Overview **Network** Password Firmware Save & Load

Network Settings

AUTO IP **STATIC IP**

Address

Netmask

Gateway (optional)

DNS Server (optional)

Hostname

図 5-5 AT Admin: System – Network

5.5.2.1. IP アドレス

- AUTO IP** 自動で IP アドレス取得・設定を行いたい場合に選択します。
 初期状態ではこちらが選択されています。
 ネットワーク内にDHCPサーバがある場合、DHCP接続を行います。DHCPサーバが見つからなかった場合、Zeroconfによって自動でIPが割り振られます。詳細については「6 ネットワーク設定」を参照してください。
- STATIC IP** 固定で IP アドレスを設定する場合に選択します。
 以下の項目について、手動で入力設定する必要があります。
 Address: 設定する IP アドレスを入力します。
 Netmask: 設定するサブネットマスクを入力します。
 Gateway:
 設定するゲートウェイサーバの IP アドレスを入力します。ゲートウェイを使用しない場合は、空欄にしてください。
 DNS Server:
 設定する DNS(ドメインネームシステム)サーバの IP アドレスを入力します。DNS を使用しない場合は、空欄にしてください。

5.5.2.2. Hostname

ホスト名の変更確認を行いません。変更する場合はテキストボックス内に新しいホスト名を入力してください。初期状態では「a220-0」となっています。Bonjourでは、この設定とデフォルトのネットワーク名である「.local」の組み合わせを使用するため、初期状態では「a220-0.local」がArmadillo-220の名称となります。この名称は、WEBブラウザのアドレスで確認することができます。詳細については「6.4 Bonjour上のホスト名について」を参照してください。

5.5.2.3. Update

設定を入力後「Update」ボタンを押すと、以下のような画面が表示された後、Armadillo-220 は新しいネットワーク設定で動作を開始します。



図 5-6 AT Admin: System – Network Update

ネットワーク設定を変更している間は、Armadillo-220 の LED(赤)が点灯します。数秒～十数秒後に消灯します。消灯を確認してから Armadillo-220 のトップページにアクセスしてください。



注意

設定を適用しただけでは、変更されたネットワーク設定は保存されていません。

変更した設定を保存し、次回起動時から有効にするためには、Armadillo-220 のフラッシュメモリに設定を保存する必要があります。保存方法については、「5.5.5 AT Admin: System – Save & Load」を参照してください。

5.5.3. AT Admin: System – Password

Password では、Packet Scan と System 画面の認証で使用するユーザ名とパスワードの変更を行いません。

The screenshot shows the AT Admin interface. At the top, there's a dark bar with the title 'AT Admin' and three tabs: 'Overview', 'USB Data', and 'System'. Below this is a lighter bar with five sub-tabs: 'System Overview', 'Network', 'Password' (which is highlighted), 'Firmware', and 'Save & Load'. The main section is titled 'User and Password Details'. It contains four rows of labels and input boxes: 'Username' with 'admin' entered, 'Current password', 'New password', and 'Confirm new password'. At the bottom left, there are two buttons: 'Update' and 'Cancel'.

図 5-7 AT Admin: System – Password

5.5.3.1. User and Password Details

Username 管理ユーザの名前を入力します。初期状態では「admin」です。

Current password 現在のパスワードを確認のため入力します。初期状態では「admin」です。

New password 新しいパスワードを入力します。

Confirm new password 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。

5.5.3.2. ユーザ名・パスワード設定の適用

設定を入力後「Update」ボタンを押すと、変更内容が適用されます。



注意

設定を適用しただけでは、変更された設定は保存されていません。

変更した設定を保存し、次回起動時から有効にするためには、Armadillo-220 のフラッシュメモリに設定を保存する必要があります。保存方法については、「5.5.5 AT Admin: System – Save & Load」を参照してください。

5.5.4. AT Admin: System – Firmware

Firmware では、ユーザーランド(アプリケーション群)及び Linux カーネルのファームウェア更新を行うことができます。

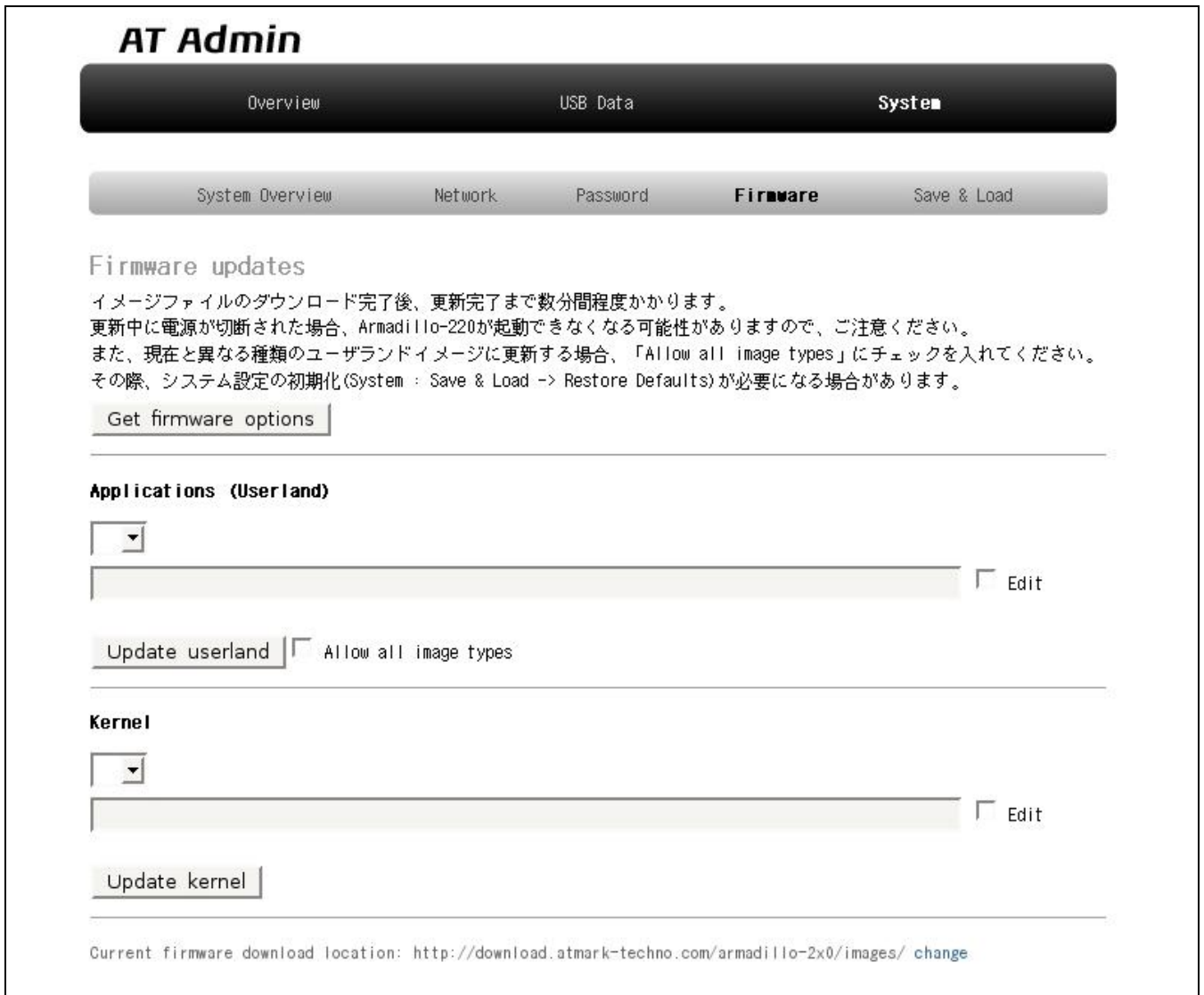


図 5-8 AT Admin: System – Firmware

公式 WEB サイトで公開されているイメージファイルに更新する場合、まず「Get firmware options」ボタンを押してください。その下の「Applications (Userland)」「Kernel」の各ボックスに、存在するイメージファイルが表示されます。(当機能を使用する場合、インターネットに接続可能である必要があります)

5.5.4.1. Applications (Userland)

ユーザーランド (アプリケーション群)更新を行う項目です。

- | | |
|------------|---|
| イメージ選択ボックス | サーバに存在するユーザーランドイメージが登録されています。更新したいイメージを選択します。 |
| URL 入力ボックス | ダウンロードするユーザーランドイメージファイルの URL が表示されます。ボックス右側の「Edit」にチェックを入れると、このボックスに任意の URL を直接入力することが可能になります。
「Edit」にチェックを入れた場合、URL 入力ボックスへの直接入力が優先され、イメージ選択ボックスによる選択は無視されます。 |

「Update userland」ボタンを押すと、ユーザーランドイメージのダウンロードが始まり、その後フラッシュメモリの更新が開始されます。また、現在と異なる種類のユーザーランドイメージに更新する場合⁴は、「Update userland」ボタンを押す前に、「Allow all image types」にチェックを入れてください。

5.5.4.2. Kernel

Linux カーネル更新を行う項目です。

- | | |
|------------|--|
| イメージ選択ボックス | サーバに存在するカーネルイメージが登録されています。更新したいイメージを選択します。 |
| URL 入力ボックス | ダウンロードする Linux カーネルイメージファイルの URL が表示されます。ボックス右側の「Edit」にチェックを入れると、このボックスに URL を直接入力することが可能になります。
「Edit」にチェックを入れた場合、URL 入力ボックスへの直接入力が優先され、イメージ選択ボックスによる選択は無視されます。 |

「Update kernel」ボタンを押すと、Linux カーネルイメージのダウンロードが始まり、その後フラッシュメモリの更新が開始されます。

⁴ Base から Recover イメージ、または Recover から Base イメージに更新する場合です。

5.5.4.3. イメージの更新

「Update userland」「Update kernel」が開始されると、図 5-9が表示されます。



図 5-9 AT Admin: System – Updating Firmware

ファームウェアの更新中は、Armadillo-220 の電源を切らないでください。更新完了前に Armadillo-220 の電源が切断された場合、Armadillo-220 が起動しなくなる可能性がありますので、十分に注意してください。

更新完了後は、図 5-8のFirmware画面に戻ります。ユーザーランド・カーネルの更新を連続して行いたい場合、続けて選択・入力を行ってから更新開始ボタンを押してください。

以前と異なる種類のファームウェアを書き込んだ場合、設定ファイルの初期化が必要となります。設定ファイルの初期化については、「5.5.5 AT Admin: System – Save & Load」を参照してください。

すべての更新完了後、新しいファームウェアで動作させるためにはArmadillo-220 の再起動をおこなう必要があります。AT Adminからの再起動方法については、「5.5.5 AT Admin: System – Save & Load」を参照してください。

5.5.5. AT Admin: System – Save & Load

Save & Load では、変更した各種システム設定のフラッシュメモリへの保存や、以前の設定状態の回復・初期化、システムの再起動などを行うことができます。



図 5-10 AT Admin: System – Save & Load

5.5.5.1. Save & Load System Settings

システム設定の保存・回復を行うための項目です。

- 現在の設定をフラッシュに保存する (Save)
Network Settings や Password で適用した設定をフラッシュメモリに保存します。
保存した設定は、一旦 Armadillo-220 の電源を切断した後、次回以降の起動時にも有効になります。
- 現在のシステム設定を破棄し、フラッシュに保存されている元の設定に戻す (Reload)
現在動作している設定を破棄し、フラッシュメモリに保存されている設定を読み出して以前の状態に戻します。以下のような画面が表示された後、Armadillo-220 は新しい(フラッシュメモリから読み出された)ネットワーク設定で動作を開始します。



図 5-11 AT Admin: System – Reload

以前の設定に戻した結果、ネットワーク接続が変更された場合は、Armadillo-220 の LED(赤)が点灯します。LED(赤)の消灯を確認してから、Armadillo-220 のトップページにアクセスしてください。

- 現在のシステム設定を破棄し、初期状態の設定にする (Restore Defaults)
現在動作している設定を破棄し、システム設定を動作中のファームウェアにおける初期状態にします。フラッシュメモリに保存されている設定についても初期化されます。

5.5.5.2. System Reboot

システムの再起動を行うための項目です。

- システムを再起動する(Reboot)
Armadillo-220 を再起動します。図 5-12が表示された後、10 秒程度でArmadillo-220 が終了し、再び起動します。



図 5-12 AT Admin: System – Reboot

再起動後、ネットワーク接続を変更している間は、Armadillo-220 の LED(赤)が点灯します。十秒～数分後に消灯しますので、これを確認してから改めて Armadillo-220 のトップページにアクセスしてください。

6. ネットワーク設定

6.1. Armadillo-220 の自動ネットワーク接続機構

初期状態の Armadillo-220 は、自動的に IP アドレスが割り振られネットワークに接続できるように設定されています。PC 側のネットワーク接続についても、Armadillo-220 が自動的に接続したネットワークに適切に接続されるよう設定する必要があります。

6.2. 簡単な接続方法

Armadillo-220 は、DHCP 接続または Zeroconf 接続という手法でネットワークに接続します。この Armadillo-220 と同じネットワークに接続する最も簡単な方法は、OS による自動 IP アドレス設定を利用することです。Windows XP の場合、TCP/IP を「IP アドレスを自動的に取得する」にしておくことで、Armadillo-220 と同じように DHCP または Zeroconf が適切に設定されますので、これ以上の手順は必要ありません。

6.3. その他の接続方法

Armadillo-220 が起動され自動的にネットワーク接続を行う際の詳細について追いながら、その他のネットワーク接続設定について説明します。

6.3.1. DHCP 接続

Armadillo-220 がネットワークに自動接続する際、最初に DHCP 接続を試みます。ネットワーク内に DHCP サーバがある場合、Armadillo-220 はその DHCP サーバからの応答に従って IP アドレスが割り振られます。

PC は、同じように DHCP 接続することにより、必ず Armadillo-220 と同じネットワークに接続されることとなります。

6.3.2. Zeroconf 接続

Armadillo-220 が DHCP サーバを見つけられなかった場合、Zeroconf (IPv4LL) という機構を使って IP アドレスを割り当てます。

こうして設定された Armadillo-220 と接続するために、PC も同じネットワークに接続しなければなりません。PC 側でも Zeroconf 使うことができれば、当然問題なく接続できます。

Zeroconf は、Windows では自動プライベート IP アドレッシング(APIPA)とも呼ばれており、Zeroconf では、特定のアドレス範囲(169.254.0.1 ~ 169.254.255.254)内のアドレスを使用し、サブネットマスクを 255.255.0.0 に設定します。なお、この範囲の IP アドレスは IANA (Internet Assigned Numbers Authority)によって予約されています。

もう一つの方法は、Zeroconf 接続と同じネットワークになるような設定を、固定 IP アドレス設定で行うという方法があります。169.254.0.1 ~ 169.254.255.254 の任意の IP アドレスとサブネットマスク 255.255.0.0 の組み合わせを PC のネットワーク設定に使用することで、Zeroconf と同じネットワークに接続することができます。

こうして設定した任意の IP アドレスが、たまたま Armadillo-220 が設定した IP アドレスと重なることがあります。これについては問題になりません。Armadillo-220 の Zeroconf は、自身と同一の IP を持つ個体からの発信を見つけると、すぐに自ら IP アドレスを変更しますので、一定時間後にはお互いを認識可能になります。

6.3.3. 固定 IP アドレス設定接続

Armadillo-220 は初期状態で自動ネットワーク接続を行いますが、もちろん固定的にネットワーク接続させることも可能です。一旦、自動ネットワーク接続でPCからArmadillo-220 を発見できれば、WEBブラウザからの操作でArmadillo-220 に固定IPアドレスを割り振ることができます。この方法については、「5.5.2 AT Admin: System – Network」を参照してください。

6.4. Bonjour 上のホスト名について

Bonjour によるホスト名の表示は、Armadillo-220 に設定されたホスト名(初期状態では「a220-0」)と同じになります。また、Bonjour のネットワーク名は「.local」となっています。このため、Bonjour から開いた WEB ブラウザの URL は通常「http://a220-0.local/」となります。

ただし、同じネットワーク上に同一のホスト名が存在した場合(初期状態の Armadillo-220 を複数接続するなど)、この 2 台目以降のホスト名は、末尾の数字が変化します。例えば、初期状態の名称でこのような状態になると、2 台目は「http://a220-1.local/」、3 台目は「http://a220-2.local/」...となります。この場合 2 台目以降の Armadillo-220 は、結果的に「AT Admin」上で設定されたホスト名と Bonjour ホスト名が一致しないこととなりますので、注意してください。

このような場合でも、MACアドレスによって固体を判別することは可能です。Internet Explorerの Bonjour リストにはMACアドレスが表示されますので、本体添付シールとの比較で特定することができます。「図 4-2 エクスプローラ バー “ Bonjour ”」を参照してください。

7. トラブルシューティング

7.1. Armadillo-220 が起動しない

- 電源投入時に LED(緑)が点灯するか確認してください。点灯していない場合は電源が正しく接続されているか確認してください。

7.2. Bonjour から Armadillo-220 を発見できない

- LAN Link LED が点灯しているか確認してください。点灯していない場合は LAN ケーブルを適切に挿入してください。
- Bonjour で接続している PC と、発見したい Armadillo-220 の間にルータがない事を確認してください。ルータがある場合は発見できません。
- ファイアウォールを使用している場合、Bonjour で使用するポート「UDP 5353」が使用可能状態となっているかどうかを確認してください。

7.3. ネットワーク設定の変更後、WEB ブラウザ表示ができない

- AUTO (自動) IP 設定から STATIC(固定) IP 設定に変更したことなどによって IP アドレスが変更された場合、ホスト名と IP アドレスの対応が変わります。しかし WEB ブラウザによっては、キャッシュされた古い IP アドレスを使い続けてしまい、ホスト名による表示が一時的にできなくなる場合があります。このような場合、一旦 WEB ブラウザを終了し、再度 WEB ブラウザを立ち上げ直してから、改めてトップページの表示を試みてください。



TIPS

Internet Explorer Version 6 で、この現象の発生と、ブラウザ再起動による回復を確認しています。

- 上記をおこなっても表示ができない場合、Armadillo-220 が不正なネットワーク接続状態となっている可能性があります。この時点で変更されたネットワーク設定はまだフラッシュメモリに保存されておりませんので、一旦 Armadillo-220 の電源を切断し、再度電源を入れてからネットワーク設定変更をやり直してください。

改訂履歴

Version	年月日	改訂内容
1.0.0	2006/9/7	・初版発行
1.0.1	2006/10/20	<ul style="list-style-type: none"> ・Armadillo-230 Startup Guide に準拠 ・「2.2 保証に関する注意事項」を追加 ・「ユーザランド」を「ユーザーランド」に統一 ・「Flash メモリ」を「フラッシュメモリ」に統一
1.0.2	2006/11/9	・図（画面）に外枠を追加
1.0.3	2007/7/20	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメントプロパティのタイトルを修正 ・初期不良の保障期間に関する記述修正 ・「5.5.1 AT Admin: System – System Overview」の機能説明文を図の前へ移動
1.0.4	2007/9/14	<ul style="list-style-type: none"> ・「2.2 保証に関する注意事項」の製品の保証方法を修正 ・「図 5-8 AT Admin: System – Firmware」を、機能追加による画面変更により修正 ・「5.5.4.1 Applications (Userland)」のユーザーランドの書き換え方法を修正

